

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

不燃物等発生量
 ① 当該事業場における排出量 10.4 t
 ※1 自社の他事業場からの搬入量 t

産業廃棄物の種類
 ス、金属くず
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

有償物量

② 自ら直接再生利用する量 t
 ③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 t
 ④ 自ら中間処理する量 t
 ⑤ ④のうち熱回収を行う量 t

⑥ 自ら中間処理後の残さる量 0.0 t
 ⑦ 自ら中間処理により減量する量 0.0 t

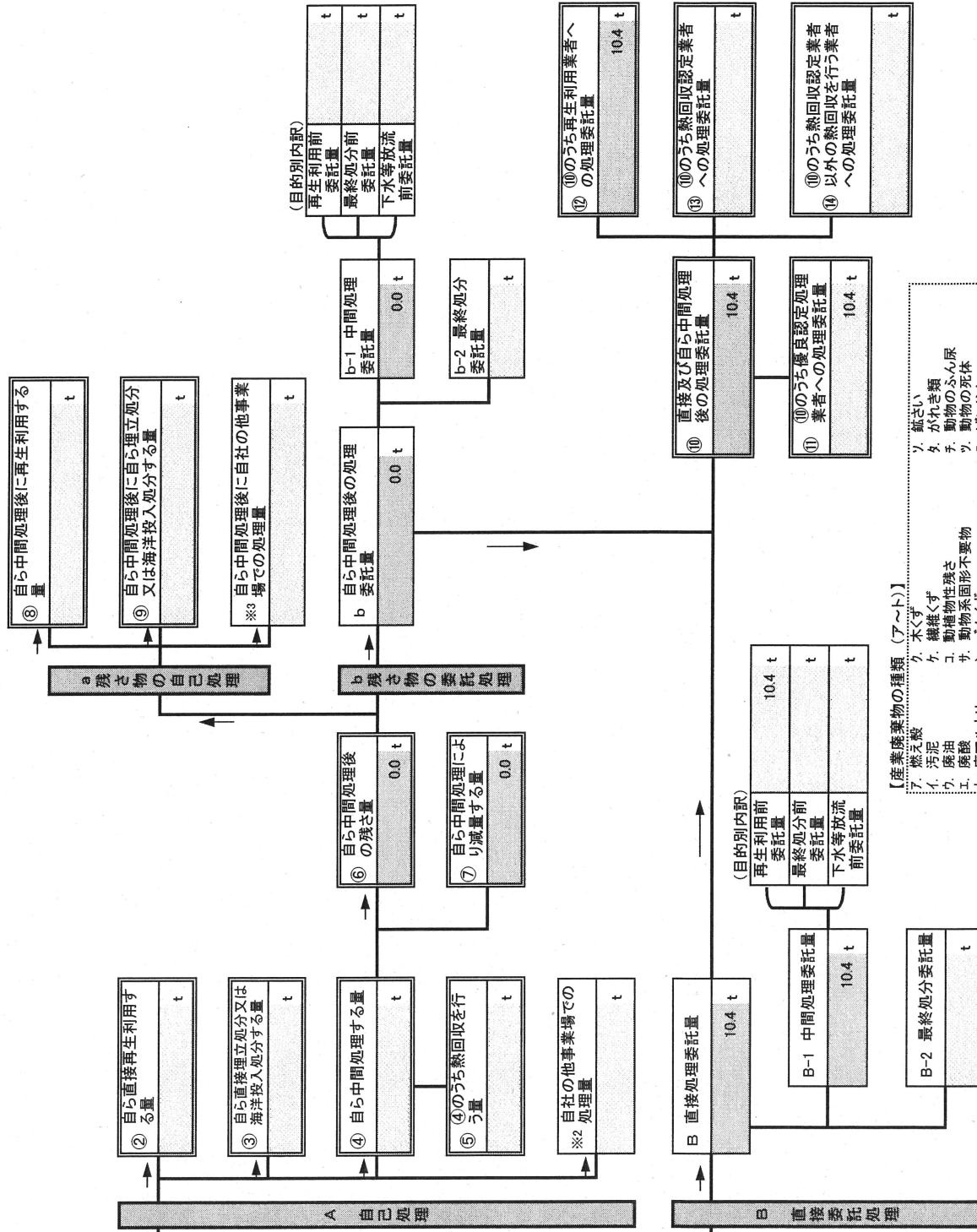
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量 t
 ⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量 t
 ※3 場での処理量

注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	10.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	10.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	10.7 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.7 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。
 2-2 法定 自主

事業場名称：独立行政法人国立印刷局小田原工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - オ. 廃プラスチック類
 - カ. 紙くず
 - キ. 繊維くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 動植物性残さ
 - コ. 動物糞尿
 - サ. 廃アルカリ
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. クラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 硫酸
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

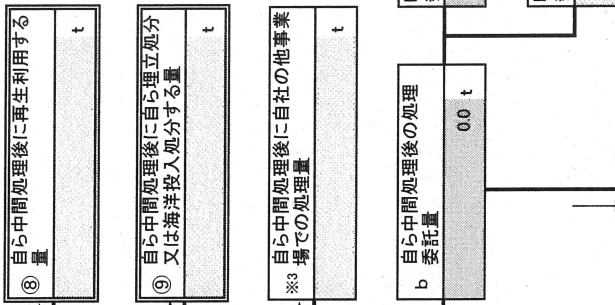
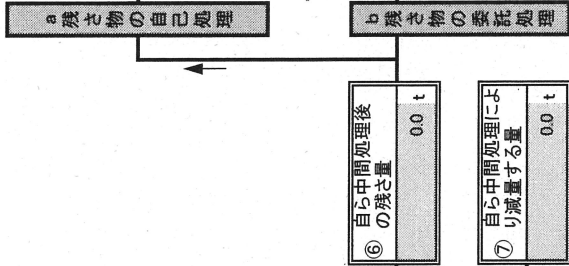
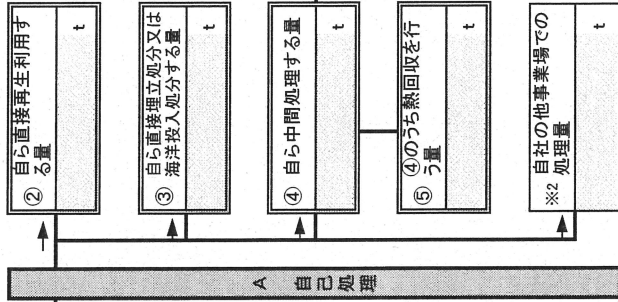
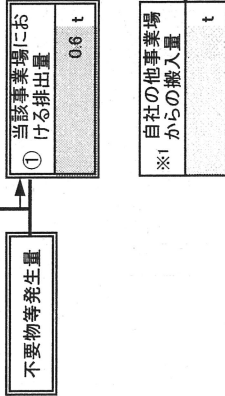
別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



項目	令和3年度実績
① 排出量	0.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
⑨+⑩ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア、燃え殻
- イ、汚泥
- ウ、廃油
- エ、廃酸
- オ、廃アルカリ
- カ、プラスチック類
- キ、紙くず
- ク、繊維くず
- ケ、動植物性残さ
- コ、廃樹脂
- サ、廃樹脂
- シ、スチロール樹脂
- ス、金属くず
- セ、ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ、その他

該当する欄に○印を記入してください。

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称：独立行政法人国立印刷局小田原工場

(目的別内訳)

再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑫のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t
-------------------	-------

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
--------------------	---

⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	t
---------------------	---

産業廃棄物処理計画書

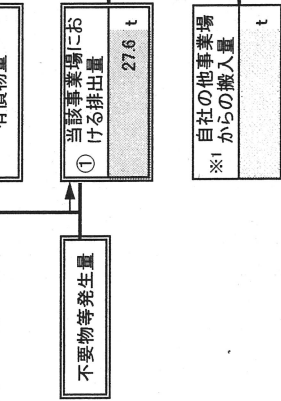
別紙処理フロー

令和4年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



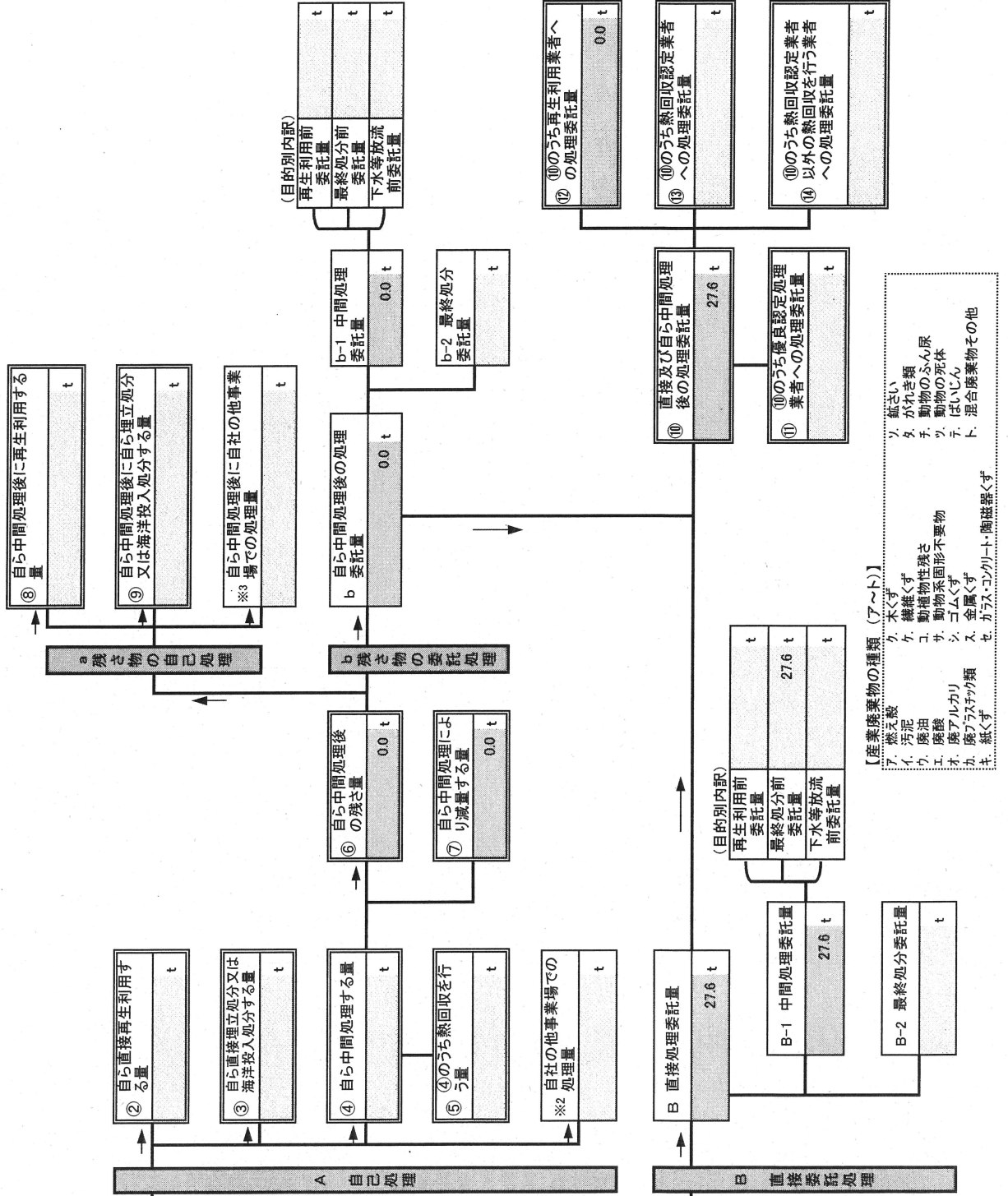
注) 右上のフローには、令和4年度の目標量を記載してください。下の表には、令和3年度実績を記載してください。なお、様式3をおわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和3年度実績
① 排出量	25.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	25.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

該当する欄に○印を記入してください。

2-2 法定 自主

事業場名称：独立行政法人国立印刷局小田原工場



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ケ. 動植物性残さ
- コ. 動物系固形不要物
- サ. ゴムくず
- シ. 金属くず
- ス. 陶磁器くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器その他
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他